



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 田中商事株式会社

コード番号 7619 URL <http://www.tanakashoji.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河合 勝彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部長兼経営企画室長 (氏名) 春日 国敏

TEL 03-3765-5211

四半期報告書提出予定日 平成22年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	8,520	19.6	116	—	109	144.8	48	157.9
22年3月期第2四半期	7,124	△20.7	△77	—	44	△86.4	18	△89.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	5.56	—
22年3月期第2四半期	2.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	17,034	8,180	48.0	928.74
22年3月期	17,107	8,225	48.1	933.79

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 8,180百万円 22年3月期 8,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

配当予想につきましては、未定とさせていただきます。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,298	14.9	494	—	487	74.9	321	139.1	36.48

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 ― 社（社名 ）、除外 ― 社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	8,832,000株	22年3月期	8,832,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	23,348株	22年3月期	23,348株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	8,808,652株	22年3月期2Q	8,808,727株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の発表時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりますが、この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外となっております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料2ページ）「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に景気回復の傾向が見られ、設備投資の動向および企業収益も改善しつつあるものの、失業率が高水準にあり雇用情勢に厳しさが残るほか、依然として長期的なデフレ傾向から脱却することができず、厳しい状況で推移いたしました。

当企業グループの属する建設関連業界におきましても、住宅建設に持ち直しの動きが見られるものの、公共投資が総じて低調に推移しているほか、住宅着工戸数は横ばいの状況が続くなど、需要の本格的な回復には至りませんでした。

このような状況の中、当企業グループにおきましては、競争の激しい需要獲得へ向け、顧客への提案営業を至上命題とした営業活動の合理化および効率化に、積極的に取り組んでまいりました。また、経営戦略の柱に据えている出店戦略についても、新たに熊本県熊本市に熊本営業所を開設いたしました。加えて社内活性化を図り、新規需要を獲得するため、社員間の切磋琢磨の促進、営業部門内のマンネリ化防止等、実りのある営業活動が行えるような環境作りを進めてまいりました。

子会社の(株)木村電気工業につきましても、営業部におきましては親会社である田中商事(株)との連携により新規分野への進出、売上高の確保に努めました。また製造部は在庫およびコストの削減を、技術部におきましても、特にコネクタや幹線商材の一部を海外の生産拠点を活用する等、新規開発を即、販売に結び付けられるように進めることで業績向上を図ってまいりました。

こうした中、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,520,727千円（前期比119.6%）と増収を計上することができました。また、利益面につきましては営業利益116,647千円（前年同期実績は営業損失77,184千円）、経常利益109,242千円（前期比244.8%）、四半期純利益48,946千円（前期比257.9%）と増益を計上することができました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ72,845千円減少し、17,034,885千円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ267,509千円減少し、6,783,743千円となりました。

固定資産は、新設営業所用地取得等により、前連結会計年度末に比べ194,663千円増加し、10,251,142千円となりました。

流動負債は、短期借入金の返済による減少等により、前連結会計年度末に比べ85,138千円減少し、7,918,072千円となりました。

固定負債は、退職給付引当金の増加等により、前連結会計年度末に比べ56,734千円増加し、935,834千円となりました。

純資産は、剰余金の配当等により、前連結会計年度末に比べ44,441千円減少し、8,180,978千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ199,046千円増加し、743,045千円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少等により661,933千円（前年同期に得られた資金は738,736千円）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、新設営業所用地取得等に係る支払い等により208,053千円（前年同期に使用した資金は353,288千円）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、借入金等の返済及び利益配当金の支払い等により、254,833千円（前年同期に使用した資金は717,276千円）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年3月期の通期の業績予想につきましては、現時点では平成22年5月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これによる損益への影響はありません。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	743,045	543,998
受取手形及び売掛金	4,675,787	5,017,171
商品及び製品	1,156,927	1,242,527
仕掛品	5,255	—
原材料及び貯蔵品	117,336	114,195
その他	103,506	151,722
貸倒引当金	△18,115	△18,363
流動資産合計	6,783,743	7,051,252
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,594,098	2,556,070
土地	6,650,623	6,505,085
その他（純額）	232,259	242,454
有形固定資産合計	9,476,981	9,303,610
無形固定資産		
借地権	183,254	183,254
その他	14,921	15,320
無形固定資産合計	198,176	198,575
投資その他の資産		
その他	674,003	682,063
貸倒引当金	△98,018	△127,770
投資その他の資産合計	575,984	554,292
固定資産合計	10,251,142	10,056,478
資産合計	17,034,885	17,107,730
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,327,052	2,319,543
短期借入金	5,090,000	5,240,000
未払法人税等	86,536	114,256
賞与引当金	87,719	81,708
その他	326,763	247,702
流動負債合計	7,918,072	8,003,210
固定負債		
退職給付引当金	573,477	511,828
役員退職慰労引当金	253,050	246,600
その他	109,307	120,671
固定負債合計	935,834	879,099
負債合計	8,853,907	8,882,310

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,073,200	1,073,200
資本剰余金	951,153	951,153
利益剰余金	6,164,277	6,203,417
自己株式	△13,491	△13,491
株主資本合計	8,175,139	8,214,280
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5,838	11,139
評価・換算差額等合計	5,838	11,139
純資産合計	8,180,978	8,225,420
負債純資産合計	17,034,885	17,107,730

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	7,124,478	8,520,727
売上原価	5,839,245	6,995,514
売上総利益	1,285,232	1,525,212
販売費及び一般管理費	1,362,417	1,408,564
営業利益又は営業損失(△)	△77,184	116,647
営業外収益		
受取利息	244	120
仕入割引	120,968	—
その他	17,170	6,140
営業外収益合計	138,384	6,260
営業外費用		
支払利息	16,575	13,665
その他	4	1
営業外費用合計	16,579	13,666
経常利益	44,620	109,242
特別利益		
固定資産売却益	706	1,151
貸倒引当金戻入額	12,776	—
賞与引当金戻入額	2,798	—
特別利益合計	16,281	1,151
特別損失		
固定資産売却損	457	70
固定資産除却損	93	163
特別損失合計	550	233
税金等調整前四半期純利益	60,350	110,159
法人税、住民税及び事業税	30,892	80,864
法人税等調整額	10,482	△19,650
法人税等合計	41,374	61,213
少数株主損益調整前四半期純利益	—	48,946
四半期純利益	18,976	48,946

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	60,350	110,159
減価償却費	104,354	112,601
のれん償却額	6,113	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13,047	△30,000
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,184	6,011
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	31,784	61,649
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△8,934	6,450
受取利息及び受取配当金	△529	△439
支払利息	16,575	13,665
固定資産除売却損益 (△は益)	△155	△917
売上債権の増減額 (△は増加)	1,029,587	374,930
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△33,688	77,203
差入保証金の増減額 (△は増加)	0	50
その他の資産の増減額 (△は増加)	△7,475	44,141
仕入債務の増減額 (△は減少)	△188,290	626
その他の負債の増減額 (△は減少)	△22,882	△24,396
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,172	26,397
小計	943,404	778,132
利息及び配当金の受取額	529	439
利息の支払額	△16,878	△13,730
法人税等の支払額	△188,320	△102,908
営業活動によるキャッシュ・フロー	738,736	661,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△215,895	△209,613
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,607	2,038
関係会社株式の取得による支出	△89,178	—
貸付けによる支出	△51,118	△218
貸付金の回収による収入	1,892	525
その他の支出	△1,921	△1,443
その他の収入	1,325	657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△353,288	△208,053
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△640,000	△150,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△6,445	△16,264
自己株式の取得による支出	△22	—
配当金の支払額	△70,809	△88,569
財務活動によるキャッシュ・フロー	△717,276	△254,833
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△331,829	199,046
現金及び現金同等物の期首残高	1,205,168	543,998
現金及び現金同等物の四半期末残高	873,339	743,045

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。